

県勢2チーム がんばったね

全国草サッカー男子3日目

第37回全国少年少女草サッカー大会(朝日新聞社など主催、第一三共ヘルスケア協賛)は19日、男子の部3日目の3次リーグ戦(順位別)が静岡市内であった。県勢は2チームが8強入りして1位リーグを戦ったが、決勝進出はならなかった。最終日の20日は順位決定戦があり、決勝はパディサッカークラブ(神奈川)とシルクロードSC-N(東京)が戦う。

初出場 粘り強く5位決定戦へ

MF・加勢田蓮選手



ステラ(焼津)

初出場で8強入りを果たしたFC STELLA焼津(焼津市)の勢いは、この日も続いていった。高槻南AF Cist(大阪)との第1試合。後半、MF加勢田蓮選手(6年)が右サイドを駆け上がり、相手DF陣をかわして放ったシュートが決勝ゴールに。1-0で勝利を決めた選手たちの顔には、自信がみなぎっていた。

だが、第2試合のパディサッカークラブ江東A(東京)戦では、序盤に速攻を受けて失点。粘り強く守ったものの、前半終了前に2点目、後半にも3点目を失う。攻めでは好機に決めきれず、今大会8試合目で初めての敗戦となった。

相手は前日まで6試合で計37得点無失点の強豪。とはいえ、主将の三上優太選手(6年)は「防げた失点だった」と悔やんだ。「自分がかうまく声をかけられていればよかった」。

シルクロードSC-N(東京)との第3試合も立ち上がりから失点し、攻守ともリズムを取り戻せないまま0-5で敗れた。第1試合で決勝点をあげた加勢田選手は「あとの試合ももっとシュートを打って、しっかり決めたかった」。

「切り替えよう。参加128チームの中で5位でもすごいぞ」。

試合後、田中将紀監督(34)は選手たちに呼びかけた。20日は、中野島フットボールクラブ(神奈川)との5位決定戦に臨む。

(杉山圭子)

再三攻め込まれても 踏ん張った

GK・工藤大海主将



高部JFC(清水)

8強入りしたもう1チーム、高部JFC(静岡市清水区)は、第1試合でパディサッカークラブ(神奈川)に0-1、第2試合はパディサッカークラブA(東京)に0-2で敗戦。主力の2選手が故障などで出場できず、得点をあげるのに苦しんだ。

第3試合の中野島フットボールクラブ(神奈川)戦も、機動力を生かした相手の攻撃に序盤から押される展開が続いた。前半、3点を失ったあと、吉川来夢選手(6年)がスローインからシュートを決め、1点を返して意地をみせた。「結果は良くなかったけど、最後に得点できて良かった」。

守備では、GKの工藤大海主将(6年)が踏ん張った。ゴール前

に攻め込まれる場面が多かったが、味方に指示を飛ばし、攻撃につなげようと豪快なロングキックを放った。

身長167センチ。恵まれた体格を生かし、小学4年からGKに。「一番後ろからフィールド全体が見られるので、大事なポジション」と話す。

卒業後は、清水エスパルスジュニアユースに入る予定だ。ブラジル出身のGK、アリソン選手やエデルソン選手に憧れている。「ロングキックやパントキックの精度を高め、守備でも攻撃でも中心になれる選手をめざしたい」。

高部JFCは20日、高槻南AF Cist(大阪)と7位決定戦を戦う。

(青山祥子)